

## IV 支援に関するQ&A

※Q1～Q15 については、「大阪府新生児聴覚検査事業の手引き」（平成 30 年3月作成）  
をご参照ください。新生児聴覚検査に関する Q&A を記載しております。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/boshi/sinseizityoukaku.html>



Q16 新生児スクリーニング検査で「リファア（要再検）」となったが、相談できる  
機関はありますか。

A16 府は、令和 2 年 6 月 15 日に、府立福祉情報コミュニケーションセンター  
を開設し、聴覚障がい児早期支援中核機能拠点として位置づけました。同施  
設では、NPO 法人手話言語獲得習得支援研究機構 ひだまりMOE、児童発  
達支援センター(社福)愛徳福社会 ゆうなぎ園、児童発達支援事業所(社福)  
大阪肢体不自由者協会 ぴよんぴよん教室による相談支援体制を整備してい  
ます（相談支援ネットワーク（代表機関 ひだまりMOE））。（P.5、29 参  
照）

同ネットワークでは、臨床心理士を配置しており、新生児スクリーニング  
検査で「リファア（要再検）」となった時点から相談を受け付けておりますの  
で、聴覚に障がいの疑いがある時点から、安心してお問い合わせください。

Q17 府立福祉情報コミュニケーションセンターは、聴覚障がい児早期支援中核機  
能拠点とのことであるが、どのような情報を得ることができますか。

A17 療育などの障がい福祉サービス等機関の情報はもちろんのこと、早期教育  
相談を実施している府立聴覚支援学校等様々な機関と連携しており、それぞ  
れの紹介が可能です。（P.5、6参照）

Q18 手話を習得する様々な方法について。各区市町村の行政機関で行う手話奉仕  
員養成講座、地域の手話サークルなどの情報を教えてください。

Q18 大阪聴力障害者協会（P.29 参照）へお問合せください。